令和8年度中小企業実態調査アンケート（案）

Ⅰ　会社概要

所在地	〒		
事業所名		電話番号	－　　－
代表者名		担当者名	
従業員数（令和8年4月1日時点）※該当1つ選択	① 5人未満　② 5～20人　③ 21人～50人 ④ 51人～100人　⑤ 101人～300人　⑥ 300人以上		
従業員の構成（令和8年4月1日時点）	【男女比】　男性：＿＿%　女性：＿＿% 【雇用形態】　正規：＿＿%　非正規：＿＿%		※割合は概数でかまいません。

Ⅱ　直近の経営課題や影響を受けているものについて

（1）現在抱えている経営課題について教えてください。（最もあてはまるものを1つ選択）

① 人手不足（人材確保）、採用難　② 資金調達
③ IT化、ICT化、AIの導入、デジタル技術の導入　④ DXへの対応
⑤ カーボンニュートラル・GXへの対応　⑥ 業務効率化
⑦ 原材料やエネルギー価格等の高騰によるコスト増大への対応　⑧ 売り上げの減少
⑨ 人件費の高騰　⑩ 人材育成、定着、離職防止　⑪ 後継者問題（事業承継）
⑫ その他（詳細：　　）

（2）現在の国際情勢や物価高騰等により、直近で特に影響を受けているものをお選びください。（最もあてはまるものを1つ選択）

① 原材料価格の上昇　② 仕入価格の上昇　③ 仕入品不足　④ 輸入品の価格上昇（為替影響含む）
⑤ 原材料・商品の調達が困難　⑥ 仕入先の変更を余儀なくされている　⑦ 在庫確保のための資金負担増加
⑧ 特に影響はない

Ⅲ　経営基盤・販路拡大について

1 今後の経営方針（最もあてはまるものを1つ選択）	① 事業拡大を目指している　② 新規市場開拓を目指している ③ 製品やサービスの品質向上に力を入れる ④ 事業の効率化（コスト削減）を進める ⑤ 縮小・整理（事業縮小または撤退）を検討している ⑥ M&A（買収・売却）を検討している ⑦ その他（詳細：　　）
2 市内の取引割合	（1）市内の仕入れ、外注等の取引状況について教えてください。（最もあてはまるものを1つ選択） ① 市内の取引割合が90%以上　② 市内の取引割合が50%～89% ③ 市内の取引割合が10%～49%　④ 市内の取引割合が0%～9% ⑤ 市内取引がない （2）市外取引を行っている場合、その主な理由は何ですか。（最もあてはまるものを1つ選択） ① 市内市場の需要が小さい　② 市内の競争が激しい ③ 市内の取引先の信用・支払い状況が不安定 ④ 市外取引先との取引条件が有利　⑤ その他（詳細：　　）
3 直近3年間の営業利益の傾向	（1）直近3年間の営業利益の傾向について教えてください。（最もあてはまるものを1つ選択） ① 営業利益は増加している　② 営業利益は横ばい ③ 営業利益は減少している　④ 営業利益の推移が安定しない （2）営業利益が増加している場合、その主な原因は何ですか。（最もあてはまるものを1つ選択） ① 顧客の開拓や販路が拡大した　② 商品単価や客単価を上げるなど改革を行った ③ 新商品や新サービスを開発した　④ 他の分野や事業に進出した ⑤ 一部の商品や事業の撤退などによりコストを削減した ⑥ その他（詳細：　　） （3）営業利益が減少している場合、その主な原因は何ですか。（最もあてはまるものを1つ選択） ① 顧客や販売先が減った　② 商品単価や客単価が下がった ③ 一部の分野や事業から撤退した ④ 新商品等の開発や他分野の事業進出などによりコストが増加した ⑤ その他（詳細：　　）

	4 賃上げへの対応状況	（1）令和7年度に賃上げを行いましたか。賃上げ実施の場合は程度も教えてください。 （最もあてはまるものを1つ選択） ① 賃上げを実施した （実施率：① 5%以上　② 3%以上5%未満　③ 1%以上3%未満　④ 1%未満　） ② 賃上げを検討したが、実施していない　→（3）へ ③ 賃上げを実施していない　→（3）へ （2）賃上げの実施方法は次のうちどれですか。（実施したものをすべて選択） ① ベースアップ（賃金表の改定）　② 定期昇給 ③ 賞与（一時金）への反映　④ その他（詳細：　） （3）（1）で「② 賃上げを検討したが、実施していない」「③ 賃上げを実施していない」と回答した方にお聞きします。賃上げが進んでいない理由は何ですか。（最もあてはまるものを1つ選択） ① 市場価格が競争的で、価格転嫁が難しい ② 取引先との契約上、価格変更が難しい ③ 価格転嫁に対する消費者の反発を懸念している ④ 営業利益が十分でない ⑤ その他（詳細：　）
	5 コスト変動による価格転嫁について（最もあてはまるものを1つ選択）	① おおむね反映　② 一部反映された ③ あまり反映されなかった　④ 反映されなかった
	6 販路拡大における課題（最もあてはまるものを1つ選択）	① 新規顧客の開拓が難しい　② 既存顧客の維持・拡大が難しい ③ 販路拡大に必要なマーケティングが不足している ④ オンライン販売への対応が遅れている ⑤ 物流や配送体制の整備が進んでいない ⑥ 競合との差別化ができていない　⑦ 海外展開の難しさ（言語、規制、文化等） ⑧ その他（詳細：　）
	7 市に期待する経営支援策（最もあてはまるものを1つ選択）	① 資金面での支援（融資、助成金、補助金など） ② 販路拡大支援（展示会、販促活動、オンライン市場への支援） ③ 人材確保支援（採用支援、教育支援） ④ 経営改善支援（経営コンサルティング、業務改善指導） ⑤ 技術開発支援（R&D支援、技術革新支援） ⑥ DX推進支援（IT導入支援、デジタル技術導入支援） ⑦ 法務・労務相談支援（契約書作成、労務トラブル対応など） ⑧ 事業承継支援（後継者教育、M&A支援） ⑨ その他（詳細：　）
Ⅳ 創業及び事業承継について		
	1 創業時に最も苦労したこと（最もあてはまるものを1つ選択）	① 資金調達　② 販路の開拓 ③ 人材確保　④ 事業の立ち上げに必要な法的手続き ⑤ 経営ノウハウ不足　⑥ 顧客の信頼を得ること ⑦ 営業活動の効率化　⑧ 設備や物資の調達 ⑨ 資金繰りやキャッシュフロー管理　⑩ その他（詳細：　）
	2 創業時に利用した・知っていた支援策	（1）創業時に利用した・知っていた支援策について教えてください。（最もあてはまるものを1つ選択） ① 融資・助成金（日本政策金融公庫、中小企業基盤整備機構など） ② 創業支援プログラム（市の創業支援制度、商工会議所のサポート） ③ 経営指導・コンサルティング（専門家によるアドバイス） ④ 起業セミナー・研修（創業セミナーや事業計画作成支援） ⑤ 専門家派遣（IT、マーケティング、法務、財務等の専門家支援） ⑥ 起業家交流プログラム（同じ志を持つ起業家との交流支援） ⑦ その他（詳細：　） （2）利用した支援策が役立った場合、どの点が特に役立ちましたか。（最もあてはまるものを1つ選択） ① 資金調達がスムーズに行えた ② 専門的なアドバイスを得て経営が安定した ③ 市場のニーズに合った商品・サービス開発ができた ④ その他（詳細：　）

3 市に期待する創業支援策（最もあてはまるものを1つ選択）	① 資金面の支援　② 事業計画作成支援 ③ 創業セミナーや研修　④ 販路開拓支援 ⑤ 専門家派遣支援　⑥ 創業後のフォローアップ ⑦ 税務・法務面での支援　⑧ その他（詳細：　）
4 後継者の有無	（1）後継者の有無について（最もあてはまるものを1つ選択） ① 後継者は決まっている　② 後継者は決まっていないが候補者がいる ③ 後継者はいない　→（4）へ （2）後継者・候補者はどなたですか。（最もあてはまるものを1つ選択） ① 親族　② 従業員　③ 親族・従業員以外の第三者 （3）後継者・候補者が決まっている場合、決定までにどのような過程や課題がありましたか。（最もあてはまるものを1つ選択） ① 後継者が経営に対する関心や意欲が不足していた ② 後継者に経営に必要なスキルや経験が不足していた ③ 事業の方向性や経営方針について後継者と意見の不一致 ④ 後継者、候補者と話し合うきっかけが持てない ⑤ 後継者選定に関して税務や法律上の問題（相続税、事業譲渡等）が発生した ⑥ その他（詳細：　） （4）（1）で「③ 後継者はいない」と回答した方にお聞きします。後継者がいない理由を教えてください。（最もあてはまるものを1つ選択） ① 現経営者がまだ若い ② 誰かに引継ぐ意思はあるが適任者がいない ③ 事業に将来性を感じられず現経営者限りで廃業を考えている ④ 事業を引継ぐことにメリットを感じられず現経営者限りで廃業を考えている ⑤ 専門的な技術が必要など属人性が高く事業を引継ぐのが難しい ⑥ 事業承継の前に、経営改善や事業見直しが必要 ⑦ その他（詳細：　）
5 事業承継に向けた取組状況（最もあてはまるものを1つ選択）	① 事業承継計画を策定している　② 事業承継に向けて検討している ③ 事業承継についてまだ具体的には考えていない ④ 事業承継を検討したいが、後回しになっている ⑤ 自分限りで廃業を考えている　⑥ その他（詳細：　）
6 事業承継で活用したい支援（最もあてはまるものを1つ選択）	① 事業承継に向けた課題の整理や方向性についての相談支援 ② 経営の現状を把握するための支援（株価概算評価、事業価値のしくみ等） ③ 事業承継に向けた経営改善の支援 ④ 事業承継税制や相続対策の税務面のサポート支援 ⑤ 事業承継に向けた社内体制構築支援（就業規則、雇用契約等） ⑥ 経営者と後継者・候補者による経営計画策定支援 ⑦ 承継先マッチング支援　⑧ 事業承継専門家派遣・相談対応 ⑨ 事業承継セミナー　⑩ 補助金（補助金名：　） ⑪ その他（詳細：　）
7 廃業について	（1）廃業を考えたことはありますか。（最もあてはまるものを1つ選択） ① はい　② いいえ　→8（1）へ （2）（1）「① はい」の場合、理由をお教えください。（最もあてはまるものを1つ選択） ① 経営状況の悪化　② 人手不足　③ 後継者不在　④ 健康・年齢 ⑤ その他（詳細：　）
8 事業承継の相談	（1）事業承継に関して相談をした機関、又は、相談したいと考えている機関はありますか。（最もあてはまるものを1つ選択） ① 苫小牧市役所　② 苫小牧商工会議所（中小企業相談所） ③ 金融機関　④ 北海道事業承継・引継ぎ支援センター ⑤ 北海道中小企業総合支援センター　⑥ 税理士、公認会計士、社会保険労務士 ⑦ 弁護士、司法書士、行政書士　⑧ 親族 ⑨ 事業承継の経験のある経営者　⑩ 相談する必要がない

	8 事業承継の相談	（2）苫小牧市では、関係支援機関と連携し、事業者の皆さまの経営課題の解決を支援しています。 その一環として、苫小牧商工会議所（中小企業相談所）では、事業承継を含む経営全般のご相談に応じています。商工会議所の会員・非会員を問わず、相談は無料です。 個別相談をご希望の方は、下記の「① 相談を希望する」にご記入ください。経営指導員よりご連絡を差し上げます。（最もあてはまるものを1つ選択） ① 相談を希望する（会社概要の連絡先にご連絡いたします。） ② 相談を希望しない
V 人材確保・育成について		
	1 人手不足の状況	（1）現在、人手不足を感じていますか。（最もあてはまるものを1つ選択） ① はい ② いいえ →2（1）へ （2）（1）で「① はい」と回答した方にお聞きします。人手不足にどのように対応していますか。（該当するものすべて選択） ① 新卒（大卒・高専卒・短大卒等）採用の強化 ② 高卒採用の強化 ③ 中途採用の強化 ④ 外国人材の活用 ⑤ スポットワークの活用 ⑥ 派遣やパート、アルバイトなど非正規雇用の増加 ⑦ 業務量の削減（手順の見直しや簡素化、サービス廃止など） ⑧ 機械化や自動化による業務効率化（人の手がいらない方法へ改善） ⑨ その他（詳細： ） ⑩ 特に対応していない
	2 採用における課題	（1）社内体制の課題（最もあてはまるものを1つ選択） ① 採用活動にかかる費用・予算不足（予算がない、少ない） ② 採用活動にかかるマンパワー不足（担当者不在、忙しい） ③ 採用ノウハウ不足（なにをどうすればよいかわからない） ④ 採用方針の不明確さ（人数やターゲットが社内で明確化されていない） ⑤ その他（詳細： ） ⑥ 特に課題はない （2）採用過程の課題（最もあてはまるものを1つ選択） ① 適切な採用チャネル（欲しい人材にアプローチする手段・方法）がわからない ② 自社PRが弱い（説明会などで求職者に上手く魅力を伝えられない） ③ 応募者が少ない、又は、いない ④ 歩留まり率が低い（選考途中で落ちる人が多く、内定につながらない） ⑤ 内定辞退率が高い（内定を出しても入社前に辞退される） ⑥ その他（詳細： ） ⑦ 特に課題はない （3）採用後の課題（最もあてはまるものを1つ選択） ① 新人教育、指導（指導者がいない、方法がわからない、研修体制がない） ② 職場や業務内容とのミスマッチ ③ 早期離職 ④ その他（詳細： ） ⑤ 特に課題はない
	3 過去3年間の採用実績	（1）過去3年間（令和5年度～令和7年度）の正規雇用の採用状況をお教えください。 （最もあてはまるものを1つ選択）※令和5年度～令和7年度とは：令和5年4月～令和8年3月を指します。 ① あり ② なし（募集したが採用できていない） ③ なし（募集していない）
	4 インターンシップ実施状況	（1）令和7年度にインターンシップを実施しましたか。（最もあてはまるものを1つ選択） ① 実施した ② 実施していない →（3）へ ③ 募集したが参加者がいなかった →5（1）へ

4 インターンシップ実施状況

（2）（1）で「① 実施した」と回答した方にお聞きします。インターンシップを実施する目的をお答えください。（最もあてはまるものを1つ選択）

① 採用活動につなげるため（母集団形成）
② 優秀な人材を発掘するため
③ 採用後のミスマッチを防ぐため
④ 企業イメージの向上や認知度向上のため
⑤ 地域貢献・社会貢献のため
⑥ 組織の活性化や既存社員の成長の機会を創出するため
⑦ その他（詳細：　　）

（3）（1）で「② 実施していない」と回答した方にお聞きします。インターンシップを実施しない理由は何ですか。（最もあてはまるものを1つ選択）

① インターンシップの目的・メリットがわからないため
② 担当者がいない、忙しくて時間が取れないため
③ 受け入れプログラムをどのように作ればよいかわからないため
④ 学生に体験してもらえる業務がないため（スキルや安全面への懸念）
⑤ 募集方法がわからない、募集しても応募がないため
⑥ 採用に結び付くかわからないため
⑦ その他（詳細：　　）

5 人材育成研修の実施状況

（1）人材育成のための研修は実施していますか。（該当するものすべて選択）

① 社員（上司や先輩）が講師となり、内部で実施している（内部研修）
② 外部の講師や研修機関等のプログラムを利用して実施している（外部研修）
③ 内部研修と外部研修を併用している
④ 人材育成のための研修は実施していない　→（2）へ
⑤ その他（詳細：　　）

（2）（1）で「④ 人材育成のための研修は実施していない」と回答した場合、実施していない理由をお答えください。（最もあてはまるものを1つ選択）

① 研修の必要性を感じないため　② 担当者がいないから
③ お金がかかるから　④ 時間がないから
⑤ その他

6 DXへの取組状況・デジタル人材の育成

◆ DX（デジタル・トランスフォーメーション）
企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革すること。さらに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。

◆ デジタル人材
AIやビッグデータ、IoTなどの技術に精通し、これらのデジタル技術を活用して、企業や社会に新しい価値を創造する人材。

（1）DXに対する社内の理解度をお教えください。（各問：最もあてはまるものを1つ選択）

※職層ごとに1つ選択	（1-1）経営層	（1-2）管理職層	（1-3）一般従業員層
① 理解している	①	①	①
② ある程度理解している	②	②	②
③ わからない・どちらともいえない	③	③	③
④ あまり理解していない	④	④	④
⑤ 理解していない	⑤	⑤	⑤

（2）DXの必要性についてどのように感じていますか。（最もあてはまるものを1つ選択）

① 必要だと思う　② ある程度必要だと思う
③ あまり必要だと思わない　④ 必要だとは思わない
⑤ わからない・どちらともいえない

（3）DXの取組として実施している内容をお答えください。（実施しているものすべて選択）

① 文書の電子化・ペーパーレス化　② 電子商取引の実施
③ 営業活動・会議のオンライン化　④ RPAの導入
⑤ クラウドサービスの活用　⑥ IoTやAI活用
⑦ セキュリティ対策強化　⑧ デジタル人材の採用・育成
⑨ 電子決済導入　⑩ 顧客データの一元管理
⑪ テレワークの実施　⑫ 外部専門人材の活用
⑬ 基幹システムの構築・導入　⑭ その他（詳細：　　）
⑮ 取り組んでいるものはない

6 DXへの取組状況・デジタル人材の育成

（4）DXを推進する上で課題と感じる点を教えてください。（最もあてはまるものを1つ選択）

① DXに取り組もうとする企業文化・風土がない（理解・関心の不足）
② ビジョンや経営戦略、ロードマップがない
③ DXを推進する人材がいない、不足している
④ 予算の確保が難しい
⑤ なにから始めてよいかわからない
⑥ 具体的な効果や成果が見えない
⑦ 情報セキュリティの確保が難しい
⑧ その他（詳細：　　）
⑨ 課題はない

（5）デジタル技術の活用に向けた社員教育に取り組んでいますか。取り組んでいる場合、実施方法をお答えください。（該当するものすべて選択）

① 外部機関で行われる研修・セミナーへの参加
② 社内での研修・セミナーの実施
③ 新技術やツールの試験的導入
④ 社内での自主的な勉強会などの奨励
⑤ 中高年の人材に対する再教育
⑥ その他（詳細：　　）
⑦ 取り組んでいない

（6）取り組んでいる場合、どのような内容の教育を実施しているかお答えください。（該当するものすべて選択）

① DXやデジタル技術そのものへの理解を深める内容
② デジタル技術を使いこなすための内容（システムの操作等）
③ デジタル技術の導入方法に関する研修内容（導入セミナー等）
④ デジタル技術導入後の効果に関する内容（先進事例等）
⑤ デジタル技術に関わる公的資格（ITパスポートなど）の習得につながる内容
⑥ その他（詳細：　　）

7 外国人材の活用状況

（1）外国人材の活用状況をお答えください。（最もあてはまるものを1つ選択）

① 現在雇用している　→（2）（3-1）へ
② 過去に雇用していた　→（3-2）へ
③ 雇用していない（雇用したことがない）　→（3-2）へ

（2）（1）で「① 現在雇用している」と回答した場合、詳細をお教えください。

雇用人数 （単一回答）	① 1～4人　② 5～9人　③ 10～14人　④ 15人以上
国籍 （複数回答可）	① ベトナム　② 中国　③ ネパール　④ インドネシア ⑤ 韓国　⑥ その他（　　）
在留資格 （複数回答可）	① 技能実習　② 特定技能　③ 技能　④ 介護 ⑤ 高度専門職　⑥ 経営・管理　⑦ 技術・人文知識・国際業務 ⑧ 企業内転勤　⑨ 永住者　⑩ 日本人の配偶者 ⑪ 特別永住者　⑫ 留学　⑬ 家族滞在 ⑭ 特定活動　⑮ その他（　　）
雇用理由 （複数回答可）	① 労働力不足の解消のため　② 人件費抑制のため ③ 海外展開の足掛かりとして　④ 言語対応力強化のため ⑤ 技術力の向上・確保のため　⑥ 海外向けサービス ⑦ 日本人と同様の活躍を期待して ⑧ 国際化・異文化理解の推進のため
課題 （複数回答可）	① 言語等のコミュニケーション ② 住居などの生活面の支援 ③ 費用面の負担が大きい ④ 受入れ手続きが煩雑 ⑤ 業務の習得や研修・教育に時間がかかる ⑥ 在留期間の縛りがあり定着が難しい ⑦ 離職率が高い ⑧ その他（　　）

7 外国人材の活用状況	（3）今後の受入方針をお答えください。 （3-1）現在雇用している場合 （最もあてはまるものを1つ選択） ① 増やす ② 現状維持 ③ 減らす・やめる → 8（1）へ （3-2）現在雇用していない場合 （最もあてはまるものを1つ選択） ① 新たに採用する予定がある ② 採用を検討している →（4）へ ③ 採用予定はない　→（5）へ （4）（3-2）「① 新たに採用する予定がある」「② 採用を検討している」と回答した方へお聞きします。外国人雇用を始めるにあたり不安なことや課題だと感じることをお教えください。（上位と考えているもの3つまで選択） ① 言語等のコミュニケーション ② 住居などの生活面の支援 ③ 費用面の負担が大きい（仲介業者へ支払う初期費用、月額費用など） ④ 仲介業者をどのように選べばよいか（監理団体や登録支援機関） ⑤ 受け入れ手続き（在留資格審査等）がスムーズに進むか ⑥ 業務の習得や研修・教育に時間がかかるのではないか ⑦ 経費をかけて雇ってもすぐにやめてしまうのではないか ⑧ 既存従業員と円滑な人間関係が築けるかどうか ⑨ その他（詳細：　　） （5）（3-2）「③ 採用予定はない」と回答した方へお聞きします。外国人雇用を行わない理由をお教えてください（上位と考えているもの3つまで選択） ① 人手が足りているから ② 言語等のコミュニケーションが不安だから ③ 住居などの生活面の支援が大変そうだから ④ 費用面の負担が大きいから（仲介業者へ支払う初期費用、月額費用など） ⑤ 会社として外国人の受け入れ体制が整っていないから ⑥ 制度や手続きが難しそうでよく分からないから ⑦ 業務の習得や研修・教育に時間がかかりそうだから ⑧ 経費をかけて雇ってもすぐにやめてしまう恐れがあるから ⑨ 安全管理やガバナンスにおいて不安があるから ⑩ 技能実習や特定技能の受け入れ対象職種ではないから ⑪ 業務に必要な資格の取得が困難だから ⑫ その他（詳細：　　）
8 離職の状況	（1）直近3年度（令和5年度～令和7年度）以内に離職者はいますか。（最もあてはまるものを1つ選択） ※令和5年度～令和7年度とは：令和5年4月～令和8年3月を指します。 ① いる　　② いない　→（3）へ （2）（1）「① いる」と回答した方へお聞きします。離職理由はどのようなものでしたか。 （該当するものすべて選択） ① 仕事内容のミスマッチ ② 人間関係の問題 ③ 職場風土や価値観が合わない ④ 自身や家族の健康上の問題や家庭環境など個人的な事情 ⑤ 給与への不満 ⑥ 休暇や残業など待遇面での不満 ⑦ 妊娠・出産・育児との両立が困難 ⑧ 介護との両立が困難 ⑨ カスタマーハラスメントによる精神的苦痛 ⑩ 自社への大きな不満はないが、離職・転職希望 ⑪ 不明（確認できていない） ⑫ その他（詳細：　　）

9 職場環境・労務対応について	（3）カスタマーハラスメントに関し、従業員から相談を受けたことはありますか。 （最もあてはまるものを1つ選択） ① ある　② ない　→（5）へ （4）（3）「① ある」と回答した方へお聞きします。どのような内容の相談でしたか。 （該当するものすべて選択） ① 暴言や恫喝など脅迫的な発言を受けた ② 威嚇的・乱暴な態度をとられた ③ 居座りや不退去など長時間の拘束をされた ④ 土下座など過度な謝罪を強要された ⑤ 電話やメールを何度も繰り返された ⑥ 性別や容姿に対する侮辱的な言動を受けた ⑦ 身体への殴る・蹴るなどの暴力を受けた ⑧ 過度なクレーム、無料・返品の過度な要求を受けた ⑨ インターネットやSNSへの無許可投稿（晒し行為）をされた ⑩ その他（詳細：　　） （5）（3）「② ない」と回答した方へお聞きします。カスタマーハラスメント対策として実施している内容をお教えください。（該当するものをすべて選択） ① 対策マニュアルの整備 ② 社内の相談窓口の設置 ③ 社員向けの対応研修の実施 ④ 顧客に対するカスハラ防止の周知（ポスター掲示等） ⑤ 社員のプライバシーへの配慮（名札のフルネーム廃止など） ⑥ 通話内容の録音、録音されている旨の周知 ⑦ その他（詳細：　　） ⑧ 特に対策は実施していない
10 市に期待する人材確保・育成支援策	（1）採用支援（特に重視するもの1つ選択） ① 高卒採用の支援（教員との関係構築、生徒に市内企業を周知する取組） ② 新卒（大卒・短大卒等）採用の支援（インターンシップ受入支援、企業説明会など） ③ 中途採用の支援（転職希望者とのマッチングイベント開催など） ④ 採用活動にかかる費用への補助（イベント出展費や広告費、インターン受入れ費用など） ⑤ 外国人材採用の支援（初期費用の補助、制度の理解促進、留学生とのマッチングなど） ⑥ その他（詳細：　　） （2）育成・定着支援（特に重視するもの1つ選択） ① 従業員研修の開催支援（合同研修会の実施、研修開催費用の補助など） ② 働き方改革（労働時間是正、多様な働き方の導入、女性活躍）推進の支援 ③ DX推進の支援 ④ 職場環境（ハード面：機器・設備・道具等）の改善の取組に対する支援 ⑤ 職場環境（ソフト面：人間関係・職場風土・ルールづくり等）の改善の取組に対する支援 ⑥ その他（詳細：　　）

苫小牧市へのご意見・ご要望など、自由にご記入ください。（今後必要と考える支援策や市へのご意見・ご要望など）

ー アンケートは以上です。ご協力いただきありがとうございました。ー